

基本方針と施策について（案）

1 基本的な考え方と方向性

(1) 「仙台市基本計画」の理念

- 仙台市基本計画では、「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」をまちづくりの理念に設定する方向

(2) 「仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）」が目指す環境都市像

- 仙台市基本計画の理念のもと、「杜の恵みを活かした、持続可能なまち」を目指す環境都市像として掲げる見通し
- また、目指すまちのあり方の一つとして「『杜の都』の資源が活用され、循環するまち」を掲げ、多様な自然環境、自然と調和した都市環境、環境問題に取り組む市民の力を「杜の都」の資源として捉え、最大限に活かすとともに、市域内での循環を図る持続可能なまちを目指す方向
- さらに、分野別環境施策の一つとして「資源循環都市づくり」を掲げ、「限りある資源の大切さが認識され、資源が無駄なく、循環的に利活用されるまち」を目指す方向

仙台市基本計画の理念

挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～

杜の都環境プランが目指す環境都市像

杜の恵みを活かした、持続可能なまち

①(目指すまちのあり方)「杜の都」の資源が活用され、循環されるまち

多様な自然環境、自然と調和した都市環境、環境問題に取り組む市民の力を資源として捉える

②(分野別環境施策)資源循環都市づくり

限りある資源の大切さが認識され、資源が無駄なく循環的に利活用されるまち

(3) 「一般廃棄物処理基本計画」の基本的な考え方

“杜の都の資源”を次の世代へ 持続可能な資源循環都市をめざして

限りある資源の大切さが認識され、無駄なく循環的に利活用されるまちを目指して、市民一人ひとりがものを大切に使い、資源とごみの分別をはじめとする3Rに取り組むとともに、安全で安定的な廃棄物処理体制を確保する。

2 基本方針と施策の体系

(1) 視点

基本的な考え方のもと、「3つの基本方針」を設定し、「7つの施策」について、次の視点を横断的に捉え取り組む。



(2) 基本方針

基本方針1 発生抑制を中心とした3Rの推進

「モッタイナイ」の心を育て、3Rによるごみの減量とリサイクル推進に取り組む

- ☞ 自然環境に配慮し、資源の消費が抑制され、環境への負荷ができるだけ低減される資源循環社会の構築を目指すためには、ごみの発生抑制（リデュース）の取り組みを最優先で進め、ごみの総量を抑制することが重要
- ☞ 次に、繰り返し使う再使用（リユース）を進め、できるだけごみを出さないよう努めた上で、ごみを排出する際には、分別を徹底し、再生利用（リサイクル）を推進
- ☞ これらに取り組んだ後に残ったごみについては、可能な限り熱回収し、適正処分を行う

基本方針2 わかりやすい情報発信と人づくり

3Rやまち美化の担い手づくりに向けた、市民・事業者への適切な情報発信を進める

- ☞ ごみ減量や3Rの取り組みを推進するためには、正確でわかりやすい情報を発信することで、理解に基づいた実践に自ら取り組む担い手を育成することが重要
- ☞ 発生抑制を中心とした3Rの取り組み等、ごみ減量の必要性や分別の方法等に関する情報が、より多くの市民・事業者にわかりやすく伝わるよう、適切な情報発信や環境教育の充実に努め、自発的に考え、行動することのできる人づくり・組織づくりを進める
- ☞ ごみの散乱のない快適なまちづくりに向けた環境美化や、ごみ集積所の適切な管理やごみ出しが困難な世帯への支援等、地域において課題解決に取り組む団体等への支援や連携の強化を図るとともに、若者等の参加を促進する仕組みづくりにも取り組む

基本方針3 安全安心かつ安定的な処理体制の確保

環境負荷を低減し、災害にも強い安全で安定的かつ効率的な処理体制を構築

- ☞ 市民や事業者が日々安心して生活や事業活動を行うためには、ごみ減量・リサイクルの取り組みに加えて、ごみを安全で安定的に処理する体制を構築し、生活環境の保全や公衆衛生の向上を図ることが重要
- ☞ 老朽化が見込まれる処理施設については、ごみ量の見込みやごみ質の変化の予測を踏まえた上で、温室効果ガスの削減効果や経済性等を総合的に勘案し、改良や更新等を検討・実施することにより、適正なごみ処理体制を確保する
- ☞ これまでの東日本大震災や新型コロナウイルスの感染拡大をはじめとする様々な災害等の経験を踏まえ、外部からの支援が得難い場合においても安定した収集体制や処理施設の稼働等、災害に強い体制づくりを進める

(3) 施策

基本方針 1 発生抑制を中心とした3Rの推進

施策 1 ごみ減量・リサイクルによる資源循環

- 近年の「プラスチック資源循環戦略」の策定や「食品ロスの削減の推進に関する法律」の施行等、プラスチックごみと食品ロスの削減等が持続可能な社会づくりを進める上での喫緊の課題であるとの認識のもと、これらへの対応に重点を置きごみ減量・リサイクルを推進
- 「杜の都仙台」の象徴的な施策として実施している、家庭から発生した剪定枝等のリサイクル事業について、これまでの取り組みを生かし拡充を検討

1-1 プラスチックごみの削減

1-2 食品ロスの削減、生ごみの減量・リサイクル

1-3 緑のリサイクル

施策 2 ごみの適正排出と分別の推進

- 家庭ごみ・事業ごみともに資源物の混入割合は減少傾向であるものの、未だ再生可能な紙類等が混入している状況
- リサイクルによる資源循環を進めるため、資源物の分別推進に向けた周知啓発や適正排出指導等に取り組む

2-1 雑がみの分別徹底

2-2 プラスチック製容器包装や小型家電等の分別徹底

2-3 事業ごみの適正排出及び資源物の分別徹底

施策3 きめ細かな広報・排出ルールの周知徹底

- 計画改定に当たり実施した市民アンケート調査では、更なるごみ減量や3Rの推進に向け市が講じるべき施策として、「市民への広報の強化」や「ごみ減量・3Rに関する学校教育の充実」等への要望が多く寄せられたほか、若い世代ではごみ減量・3Rに関する施策の認知度が低い傾向
- こうした結果を踏まえ、若年層を対象とした環境教育の充実やSNS等を活用した情報発信のほか、多文化共生に配慮し多言語による情報発信を行う等、排出ルールのきめ細かな広報の実施に努める

3-1 情報発信の充実

3-2 環境教育の推進

3-3 外国人や若年層への周知・啓発

3-4 クリーン仙台推進員との連携

施策4 社会環境の変化への対応

- 高齢化の進展を背景として、日常的なごみの排出に問題を抱える世帯の増加や、地域コミュニティによるごみ集積所の管理が困難になるなど、様々な問題が顕在化しつつある
- 社会環境の変化に伴う地域課題を把握の上、コミュニティの維持や課題解決に向けた支援の実施や制度見直し等、必要な対策に取り組む

4-1 少子高齢化に向けた取り組み

4-2 単身世帯の増に対応した取り組み

施策5 環境美化の推進

- 「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」に基づくポイ捨て防止や地域清掃等について、市民・事業者・市が連携・協力して活動する「仙台まち美化ネットワーク」や、ごみ減量・リサイクルに取り組む地域のリーダーである「クリーン仙台推進員」との協働により進めてきた
- こうした本市の強みを生かし、市民・事業者との連携を一層深めながら、引き続きポイ捨てや不法投棄をしない人づくり・させない環境づくりを推進する

5-1 市域全般における環境美化の推進

5-2 地域における環境美化の推進

施策6 ごみの適正処理体制の確立

- 安全かつ安定的なごみ処理における施設について、災害時の廃棄物の迅速な処理や他自治体への処理支援等を考慮しながらあり方を整理し、既存施設の長寿命化を図りつつ、計画的に整備及び設備更新を進める
- 収集運搬について、家庭ごみ等有料化の効果及び課題等について検証を行うとともに、費用負担の適正化も含めごみ処理手数料の見直しについて検討を行う。また、今後の社会経済状況の変化に対応しつつ将来に渡り継続性が確保される体制構築に向け、バックアップ体制の確立も含め検討する
- 脱炭素社会の実現に向け、廃棄物エネルギーの利活用や温室効果ガス排出量の定量評価を行うほか、収集運搬の効率化などに取り組む

6-1 処理施設の整備計画

6-2 効率的な収集運搬体制の構築

6-3 脱炭素社会に向けた取り組み

6-4 ごみ処理手数料の適正化

施策7 災害や感染症等に備えた自己完結型処理体制の構築

- 地震や台風・大雨等の災害時において、大量に発生する災害廃棄物を迅速に処理するため「仙台市災害廃棄物処理計画」に基づき具体的手順を定めるマニュアルの整備や関係団体との連携強化を図るなど、災害発生への備えを進める
- 新型コロナウイルス感染症の流行の経験を踏まえ、広域支援が得難い状況においても非常事態に対応できる処理体制の確立に向けた取り組みを進める

7-1 仙台市災害廃棄物処理計画に基づいた処理体制の整備

7-2 広域的な廃棄物処理体制の構築

7-3 感染症等の蔓延時における安定的な処理体制の構築

(4) 実施事業 (イメージ)

基本方針 1 発生抑制を中心とした 3 R の推進
施策 1 ごみ減量・リサイクルによる資源循環
1-1 プラスチックごみの削減 <ul style="list-style-type: none"> ○ マイバッグ・マイボトル持参の推奨 ○ ワンウェイ(使い捨て)プラスチック製容器包装・製品のリデュースの推進 ○ 容器包装リサイクル法対象外の製品プラスチックのリサイクル検討(先導的取組) ○ 家庭ごみ等指定袋へのバイオプラスチックの導入可能性調査・研究
1-2 食品ロスの削減、生ごみの減量・リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ○ 暮らしの中で実践できる食品ロス削減に資する普及啓発の推進 ○ 宴会等における食べきり運動の推奨 ○ 余剰食品の有効活用としてフードドライブの推進 ○ 飲食店やホテル・旅館等との協働による食べ残し削減の推進 ○ 「3つのきる(使い切る、食べきる、水気をきる)」の更なる推進 ○ 生ごみ堆肥化容器・電気式生ごみ処理機等の普及推進
1-3 緑のリサイクル <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭系剪定枝等資源化の推進(落ち葉等の堆肥化等検討) ○ 事業系剪定枝の資源化促進(民間処理施設の利活用) ○ 公共事業における資源循環システムの構築(百年の杜推進事業との連携)
施策 2 ごみの適正排出と分別の推進
2-1 雑がみの分別徹底 <ul style="list-style-type: none"> ○ 啓発用雑がみ回収袋の作成・配布、雑がみ回収ロゴマークの普及啓発 ○ 紙製容器包装の分別回収(資源回収庫) ○ アパート・マンション等における効果的な雑がみ回収の検討 ○ 雑がみ収集専用袋導入の検討 ○ 民間事業者と連携した回収拠点の提供 ○ 集団資源回収を活用した分別・リサイクルの推進
2-2 プラスチック製容器包装や小型家電等の分別徹底 <ul style="list-style-type: none"> ○ プラスチック製容器包装、缶・びん・ペットボトル等の分別徹底 ○ 小型家電・廃食用油・布類等拠点回収の普及啓発
2-3 事業ごみの適正排出及び分別徹底 <ul style="list-style-type: none"> ○ 清掃工場における装置を使用した事業ごみ搬入車両の内容物検査 ○ 内容物検査結果を踏まえた排出事業者への訪問指導 ○ 排出事業者向け情報提供の充実 ○ 大規模建築物所有者等の立入調査

基本方針2 わかりやすい情報発信と人づくり

施策3 きめ細かな広報・排出ルールの周知徹底

3-1 情報発信の充実

- 「資源とごみの分け方・出し方」、「ワケルネット」、ごみ分別アプリ等による周知啓発
- 「市政だより」や市ホームページによる情報発信
- ごみ集積所や町内会等掲示板への啓発ポスター掲示
- リサイクルプラザを活用したリユース情報の発信

3-2 環境教育の推進

- 年齢や関心等、対象に合致した手法を用いた効果的な啓発の実施
- 地域向け出前講座の実施
- 環境施設見学会の実施
- 周知啓発用のDVDや展示物等の更新

3-3 外国人や若年層への周知・啓発

- 大学・専門学校等との連携による周知啓発
- 多言語DVDやアプリ等を活用した広報

3-4 クリーン仙台推進員との連携

- 研修会・活動発表会の実施による地域の環境リーダー育成
- 永年勤続表彰(10年以上継続の推進員対象)

施策4 社会環境の変化への対応

4-1 少子高齢化に向けた取り組み

- 地域ごみ出し支援活動促進事業の実施
- 家庭ごみ指定袋の配付(紙おむつ支給対象の高齢者等、満1歳までの乳児のいる家庭)
- 集団資源回収の普及・活動の支援によるコミュニティづくり
- ごみ集積所の設置・維持・管理のあり方の検討

4-2 単身世帯の増に対応した取り組み

- 単身世帯の生活スタイルやごみの発生要因・排出傾向を考慮した対策
- 転勤等転入者への周知啓発

施策5 環境美化の推進

5-1 市域全般における環境美化の推進

- アレマアクションプランの実践(アレマキャンペーンの展開)
- 仙台まち美化サポート・プログラムの実施(仙台まち美化ネットワーク運用)
- 公衆衛生に係る環境関係功労者等表彰の実施

5-2 地域における環境美化の推進

- ごみ集積所排出実態調査(クリーン仙台推進員との協働)
- ごみ集積所周辺清掃用袋の配布
- 地域清掃に対する支援(地域清掃袋の配布、清掃用具の貸与等)
- 「ワケルくんの五つ星☆集積所診断」(表彰制度)の実施

基本方針3 安全安心かつ安定的な処理体制の確保

施策6 ごみの適正処理体制の確立

6-1 処理施設の整備計画

- 将来的な処理施設の整備方針の検討
- 松森工場の基幹的設備改良工事の検討
- 粗大ごみ処理施設・資源化センターの基幹改良等による維持
- 石積埋立処分場の維持・管理(第2期整備第2区画拡張工事の計画)
- 老朽化した堆肥化センターのあり方検討

6-2 効率的な収集運搬体制の構築

- 生活ごみの効率的な収集方法や運搬ルートを検証
- 粗大ごみ・臨時ごみ収集のあり方の検討(高齢・障害者の単身世帯等)
- ごみ収集運搬体制のあり方の検討
- 委託業者・許可業者の指導監督

6-3 脱炭素社会に向けた取り組み

- ごみ収集運搬車両の低公害化の推進
- 焼却施設における余熱利用・電力利用の推進(余剰電力の売却)
- 焼却施設へのEV供給設備導入検討
- バイオマス化施設導入可能性調査・検討

6-4 ごみ処理手数料の適正化

- 家庭ごみ等有料化の検証・受益者負担の適正化検討

施策7 災害や感染症等に備えた自己完結型処理体制の構築

7-1 仙台市災害廃棄物処理計画に基づいた処理体制の整備

- 災害廃棄物処理マニュアルの整備
- 関係団体との災害協力に関する協定の締結
- 災害廃棄物処理における人材育成(図上訓練等の実施)

7-2 広域的な廃棄物処理体制の構築

- 災害廃棄物処理の広域処理体制の検討
- 東日本大震災の経験・教訓を活かした被災市町村への支援
- 防災拠点としての施設利用(清掃工場、環境事業所等)

7-3 感染症等の蔓延時における安定的な処理体制の構築

- 収集作業員やごみ集積所の管理をしている市民等の感染防止対策
- 収集運搬業者間における相互協力体制の構築
- 清掃工場の安定稼働